DAIZAOSUSUME

Mari秘戏

成人向

LittleWhiteButterflies.net

トン

ツ

にゃ♡

来た来た来たキターっ！

南四局
オーラス

リーチ!!

ア

くっくっく～ん♪
緑が集まるぜ！

緑一色
リューイーソー

聴牌
テンパイ

さてと…

後は私がツモるか
わざとフリ込んで
もらえば和了ね

楽勝楽勝♪

くっくっくっ

？

…なにが
おかしいのよ

ほう…
早くもリーチか
やりおるな小娘

だがなぁ…

雑種が…

見えるんだぜぇ

牌がよぉ…
透けて
見えるんだよ
マリちゃ～ん

ワシから和了たければ
その三倍は点棒を奪える役を
持って来いというのだ

は？
グヘヘッ
なに？コイツら…
ヒヤッヒヤッヒヤッ
フンッ
ダッ
負けてらんないのよ アンタ達なんかに！

やだぁ
何？この格好
こうゆ～のコスプレって言うんでしょ？
テスト用プラグスーツさ
旧型のヤツがあまってたんで拝借してね
それにほんの少し手を加えてみた
たまにはいいだろ？気分を変えてさ
変態じゃん
似合ってるよマリ
ぜひ実戦でも拝みたいもんだ

相変わらず
すごい
締め付けだな
マリの
ココは

それは
リョージのが
デカすぎるから…

ズブッ
メプッ
ジュブッ
メプッ

いい身体
してるぜ
マリは
サイコーだよ

そう？
いつでも
好きに使って
いいんだよ
私の身体…

グッ
グッ
グッ

リョージの
好きなときに
自由に

ああ
これからも
ちょくちょく
お世話になるよ

メチュ

情けないが
具合が良すぎて
さっさと
イっちまいそうだ

ズブッ

え？
もう？

ズブッ

でもいいよ
このまま
中に出してっ

ジュブッ
ズブッ

それは勘弁
願いたいな

面倒事は
ごめんなんでね

もう…っ
いいじゃん別に…

じゃあさぁ…

全部飲むからっ

ズプッ

ズプッ

顔に…っ

口の中に出してっ♡

ほらよ

ドピュッ

あっ♡

ああ

それなら
お安い御用だ

キレイに
舐め取れよ

うん♡

麻雀？

そう
麻雀

おまえ
強かっただろ？

諜報部のヤツら
なんだけど

バケモンみたいに
強くてさ

ちょっと
負けが込んでてね

もう負けられ
ないんだわ

チュパッ

チュパッ

チュパッ

チュパッ

ふ～ん
別にいいけど
協力したら
ご褒美くれる？

ん？
ご褒美か…
なにか欲しいのか？

ペロッ

うん♡
勝ったら…
これからは
毎晩
ってどう？

おいおい…
程々で
勘弁してくれよ

ジュポッ

別にリョージが
他の女と何しようが
勝手だしどうでも
いいんだけど
退屈なんだよね
一人だと

それに
この残ってる
メスの臭いも
ウザイし

仕方ないな…
それで手を打つよ

よっしゃ
交渉成立ね

ああ
勝ったらな

負けるわけ
ないじゃん
この私が
速攻で片付けて
あげるよ

匂いでわかるのよ

牌の『匂い』でね

…な～んて事も
言ってみたけど

あのオッサンの
体臭がキツくて
全然機能して
ないのよね…
実際…

まっ
とどのつまり

発

ちっ

結局は同じこと

コイツ等が
何て言おうが

どんな
バケモンだろうが

私が
ツモあがれば…

関係な…

おっと

ダンッ

それじゃよ
小娘

クックックッ…

!?

このワシを相手にいささか調子に乗り過ぎたようじゃな

バッ

ロオオン！

無双

国士

ロンシンッ！

一萬 九萬 東 南 西 北 發 中

ロオオオオン！

……っ

ロンッ！

ロン～！

あぁあぁあ

しまったぁあぁあ

うう…
さよなら
私の緑一色

お役目
ご苦労さん

あ～あ
負けちゃった

ま、しょうがないね
こんな日もあるよ

リョージ…？

…あれ？

!?

ガバッ

ちょっと
何すんのよっ
変態っ
放しさいよ
あっ
コラッ
ビクッ
待ちなさいよ
加持リョージ
悪いね
あはは…
まぁ色々あって
そういう約束なんだ
は？
何？
約束って…
後はヨロシク！
GOOD
LUCk！

ちょっと…
そこのジイさん…

なにしてくれちゃったのかなぁ？

へっへっへっ

なにって？
お注射だよ
マリちゃ～ん

我が諜報部特性のヒロポ…LCLで

最高にハイな気分にさせてやるのよ

くっ…

ドッ

チクッ

!?

ガクッ

あ…

あれ？

ヒッヒッヒッ

くっ…

ドン

ヒッヒッヒ

ん？
どうじゃ？
いい気分じゃろ？

本来は
拷問の際に
使用する
シロモンじゃがな

貴様のような
うるさいガキを
黙らせるのには
ちょうどいい

やばっ…

マジで…
力…入んないじゃん…

ちっ…
近寄るなっ
驚っ鼻
変態ジジイ

なんだ小娘

いったい
誰に口を聞いておる

ん～？

自分の置かれた状況がまだ理解できていないようじゃな？
え？
グチュ
グチュ
おぉっ
わかったか小娘
今の貴様はゴミクズ同然
貴様には減らず口を叩く権利など残されてはいないのじゃよ
グヂュッ
グヂュッ
へへッ
そうゆう事
グッグッ
大人しくしてなマリちゃ～ん
やめろっ…このゾンビ野郎！
ああ？ごちゃごちゃ言ってんじゃねえよ
麻雀の清算代として売られた女がよぉ
まあアイツにとっちゃただの遊びの女の一人だろうから
一人差し出すぐらい大して痛くもないんだろうけどな
つってもマリちゃんでもう5、6人目だけどなぁ
同情するぜケッケッケッ

まぁ楽しめよ
強がらずにな
アソコは正直だぜ
ビチョビチョにヨダレ垂らして
ヒクついて欲しがってるぜぇ
メチュ
ひゃっひゃっひゃっ
若い…
若いな
うむ
結構結構
これでこそワシの差出す大金とつりあう
やっ…
ベロ～ン
やめっ…
チュパッ
チュパッ
ジュルル

あ…
うう…

ヒッヒッヒッ

どうやら
頃合の
ようじゃな

光栄に思え

このワシの肉棒を
味わえるんじゃからな

クチュッ

ほう…
まだ力を入れ
挿入を拒むか

……っ

必死よのう
小娘

まあ
こうでなくては
つまらん

せいぜい
抗え

じゃが

所詮は
無駄なこと

完全なる勝者に
対する

絶対的弱者の
無駄な抵抗

抗えん
逆らえんのじゃ
おぉ？
ズブッ
貴様程度の
ゴミクズでは
王にはっ
もっと抗え
もっとワシを
楽しませてみい
ん～？
どうした？
もう抵抗せんのか？
ズボズボ
入っておるぞ
ヒッヒッヒッヒッ

おやおやぁ？
可哀想に…
こちらのお口が寂しそうにしてるなぁ
グッ
お兄さんが相手してあげるぜぇ
ズブッ
クックッ
悪くない
悪くないぞ小娘
グッ
薄っぺらいが確かに存在する…
才能も知性もそのカケラすら無いゴミクズ
こんな無能でもそれなりに正しい使い方があるものよ
その生きる価値
ズブッ
ジュプッ
ズブッ

カラダにのみ
その価値はある

ドクッ

ドクッ

我ら至高の
特権者に
使用されて
初めて

ドピュッ

ぶぇっ

貴様のような
無能なゴミクズにも
僅かの価値が生まれる
というものよ

ドロッ

あ…

ああ…

ヒャッヒャッヒャッ

ピクッ

ピクッ

グヘヘヘェッ

ポタッ

ポタッ

おいおい
休んでる
時間はねえぞお

あっ…

ゲッ

ガバッ

くっ

俺は少々
人様とは
趣味趣向が
異なってよお

後ろの穴の方が
お好みなんだわ

ホレッ

グヒヒッ

ズブッ

ズブッ

グヴッ

グヴッ

こっちの穴は
初めてかぁ？

そうか
そうか

気持ちイイ
だろお？

やっぱ
ガキのケツ穴は
最高だぜ

ベロッ

すぐに注いで
やるからなぁ

これこれ

俺様の精液をよぉ

ドクッ

ドクッ

たっぷりとなぁ

ドクッ

あ…

ピクッ

ピクッ

あぁ…

おし…り…ぃ…

ピクッ

ドロッ

へっ

へへっ

ほう…

この娘…まだ目が死んでおらん

今までの女共と一味違うようじゃ

くっ

へぇ

やるねぇマリちゃん

この…よっくも…

!?
チュ〜ン
でもなんか面白くねぇからもう一本いっとくかぁ？
えっ!?
それは…遠慮しとき…
あの…
ちょっ…
これから諜報部(ウチ)のヤツらがどっと押しかけてくるからよぉ
その下準備しとかないとなぁ
こちらのお薬の方も倍プッシュでなぁ
嬉しいだろぉ？サイッコ〜に飛べるぜぇ？
ズズッ
あら？睨まれちゃったよ怖い怖い怖い
まぁそのツラがいつまで持つか見物だぜぇ
ヒッヒッヒッ
ヴィィ〜ン
いやぁお待たせしました
おっ来たか
クチュッ
あれ？まだお取り込み中ッスか？

こっちの方は
キッチリ
仕上がってるぜ

ヒッヒッヒッ

グッ

ズキュ

いい感じによぉ

てか…
打ちすぎ
じゃないスか？
コレ…

ん？
そうか？

完全に
ラリってますよ
この娘

へ…

へへ…

4本までは
抵抗し続けたからなぁ

これでなかなか
頑丈なのよ
マリちゃんは

んじゃ

ホンマに
ええんでっしゃろな?

好き勝手に
やらせてもらいまっせ

うむ

激しくな

男共に輪姦される
哀れなメス豚の
乱れよがり狂う様を
見物する

それもまた
一興

つ~わけなんで

悪いね

ちょっくら
付き合ってもらうよ
お嬢ちゃん

な~に
すぐに片つけて
やっからよ

きたぜ…
ぬるりと…！

両方の穴とも
ゆるゆるやな

そそる
色してやがる

膣内(なか)も
グッショリっスね

う～む

ただよう
かぐわしき
愛液の香り

嬢ちゃん
いくつだい？

随分エロい
身体してるなぁ

これでは
しゃぶりついて
しまう事も道理

おう

誰も行かんの
やったら

一番手

行かせて
もらいまっせ

攻めなあかん…！

せっかく
若いべっぴんはんが
相手なんやから
ガメらんかい

ヒッヒッヒッ

ワイの肉棒で
ヒイヒイ
言わしたるで

ジュブッ
どや
ええやろ？
おらっ
もっと
舌絡めい
ワイの舌
吸うてみい
好きなだけ
声だして喚けや
ズプッ
ズブッ
ズプッ
おおっ
ちゃんと
腰使って
おっ
そうそう
そんな感じっスよ
ズプッ
ズプッ
ほらぁ
横から
もう一本きたよ
マリちゃん
おっ
悪いが…
少しガマン
してくれよ
こうでもしないと
狙いがつけられねえのさ
ぐぐっ
ズポッ

気分はどうかな?

真希波君

この世の中…

馬鹿な真似ほど…

狂気の沙汰ほど面白い…!

スブッ

スブッ

まっ

そこまでの事じゃあないけどな

諦めて

楽しもうや

嬢ちゃん

ほう…

なるほど

こいつぁいい穴だ

だろ?

どれどれ…

ズブ

俺はケツ穴ファックこそが芸術だとおもってる

おぉぉっ

グチュッ

グチュ

ズチュッ

でもこれだともう一個の穴が寂しそうっスねぇ

そうだな

ほら

来いよボウズ

ズチャ

二本挿しだ

ドロッ…

これこそ玄人技よ

おぉ

スッ

残りの穴も
塞いじまうか

グッ

おおおっ

ズブッ

おう
自分から
咥えてきおったで
コイツ

ズポッ

ズポッ

ズポッ

ただ若いというだけで
粋がっている
最底辺のゴミクズ

それが
さらに下

汚れたメス豚から
もの言わぬ肉便器に
成り下がる姿

それを
眺めるのは

実に楽しい

これこそが
ワシの無上の喜び

最高の愉悦

哀れ…

クククク…

哀れよのう

ヒヒッ

ヒヒヒッ

ヒ～ッヒッヒッヒッヒッ

ふぅ

やれやれ…
次は誰に
頼むかな

ま
代わりは
いくらでも
いるしな

都合のいい女が
どんどん減っていくのは
困りもんだが…

いやはや

大人の都合に
子供を巻き込むのは
気が引けるわ

これであの娘(こ)も
例の施設行きかと思うと…
なぁ…

さて…

そろそろ
行くか？

クックッ

済まんのじゃ

残念ながら
あの程度の
事では

貴様が
支払わなければ
ならぬ代償は!!

送ってやるぞ!!

暗黒に!!

ざわ…

地中の底の底!!

ざわ…

ざわ…

ざわ…

ジオフロントの
最深部!!

NERV技術開発部の女科学者が設立し

我が組織の特殊慰安施設!!

その地の獄で15年の強制肉・体・労働じゃ!!

ヒャッハッハッハッハッハッハッ!!

Fin.

発行:だいずのススメ(戸山テイジ、斎藤クスヲ)
発行日:2010年12月31日

E-mail:daiznosusume@gmail.com

印刷:有限会社 金沢印刷

だしぼのスズメ